



宮古創生



「持続可能なまちの実現」へ 「実行」「挑戦」

宮古市議会令和5年3月定例会議において、重点施策など令和5年度の主な取り組みを掲げる“宮古市経営方針”をお示しし、**総額 521 億 8,805 万円**の予算をお認めいただきました。令和5年度は、まちづくりを進める柱に次の5つの施策を掲げて取り組んでまいります。

○「省エネルギーと再生可能エネルギーの導入による“脱炭素”と“地域内経済循環”の実現」…1億6,700万円

脱炭素化を図るため、省エネルギー、創エネルギー、蓄エネルギーに取り組みます。

○「宮古駅前再開発の準備」…1,166万円

持続可能なまちづくりのため、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画を策定します。

○「地域産業の再興」…3億1万円

雇用対策、農林水産業の担い手支援の他、インバウンドの回復に向けて取り組みます。

○「持続可能な公共交通の構築」…1億5,242万円

八木沢・宮古短大駅アクセス改善のための設計業務、低炭素型車両の実証事業の他、JR山田線、路線バス、タクシーの利用促進に取り組みます。

○「デジタル化によるサービス向上と業務改善」…2,568万円

オンライン申請や施設予約システムなどのデジタル技術の導入と、行政事務の効率化に取り組みます。

これまでの攻めの姿勢に加えて、さらに“実行”と“挑戦”する姿勢を大切にし、本市のあるべき姿“安定した仕事を持って、子どもを幸せに育てられるまち”の実現に向けて、全力で市政運営を行ってまいります。

令和5年4月

宮古市長 山本正徳

令和5年度当初予算概要

令和5年度の予算が市議会で可決されました。その総額などを紹介します。

「実行」と「挑戦」の予算

当初予算総額

521億8,805万円

前年度比
+ 16億7,877万円(3.3%増)

各会計の総額はこちら！

一般会計

**334億
6,800万円**

前年度比
+ 21億4,400万円(6.8%増)

●一般会計とは？

→教育や福祉、公共施設の整備など、市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計

特別会計

**138億
8,679万円**

前年度比
- 4億136万円(2.8%減)

●特別会計とは？

→特定の目的のための予算・会計
(例) 国民健康保険事業会計

公営企業会計

**48億
3,326万円**

前年度比
- 6,387万円(1.3%減)

●公営企業会計とは？

→一般の会社と同じ方法でお金を管理する会計
(例) 水道事業会計

一般会計の基金と市債は？ その残高をチェック

■基金 (=積立金)

教育振興、産業振興など特定の目的で積み立てる資金
▷残高(令和3年度末実績) → 149億4,949万円

■市債 (=借入金)

公共施設の整備などに必要な借入金
▷残高(令和3年度末実績) → 453億6,750万円
このうち、市の実質的な負担額は142億8,366万円です。
※国からの普通交付税で補てんされるため

市民一人あたりに例えると…

【収入・支出】 約70万円

【基金残高】 約31万円

【市債残高】 約30万円

▷収入 + 基金残高 = 約101万円

▷支出 + 市債残高 = 約100万円

→収入と支出のバランスがとれています

※人口 = 47,816人(3月1日時点)